

西日本新聞社グループと日本旅行の包括的業務提携について

九州エリアの活性化と西日本エリアをはじめとした相互交流の拡大に取り組みます

株式会社西日本新聞社（本社：福岡県福岡市、社長：柴田 建哉、以下 西日本新聞社）と株式会社日本旅行（本社：東京都中央区、社長：堀坂 明弘、以下 日本旅行）は、両社の連携による九州エリアの活性化と西日本エリアをはじめとする他地域との相互交流の拡大、およびこれらを通じた企業価値の向上を目指し、2019年6月6日（木）に「包括的業務提携契約書」を締結するとともに、その実現に向け、西日本新聞社の100%子会社である株式会社西日本新聞旅行の株式の70%を日本旅行へ譲渡することとなりましたのでお知らせいたします。

<包括的業務提携契約の概要>

- (1) 西日本新聞社グループが運営、企画する文化事業やスポーツ事業に対するサービスの向上および国内旅行者や訪日外国人の誘客拡大に関する事項
- (2) 九州エリアに係わる地方創生事業や地域振興に関する事項
- (3) 西日本新聞社グループの「働き方改革」を支援する福利厚生・出張手配サービスの向上
- (4) 西日本新聞購読者への旅行等を通じたサービスの向上

<出資の概要>

- (1) スキーム：株式譲渡（発行済株式数の70%）
- (2) 実行日：2019年7月1日



（6月14日に福岡にて記者会見を行いました。写真右が西日本新聞社の柴田建哉社長、左が日本旅行の堀坂明弘社長）

株式会社西日本新聞旅行の概要

- (1) 本店所在地：福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館14階
- (2) 設立：1979年9月1日
- (3) 資本金：85百万円
- (4) 株主構成：株式譲渡後の株主構成（7/1時点）

株式会社日本旅行	（出資比率 70.0%）
株式会社西日本新聞社	（出資比率 30.0%）
- (5) 代表者：野口喜久子
- (6) 社員数：11名
- (7) 事業内容：国内・海外旅行企画・実施、国内・海外手配旅行、航空券・宿泊券等、損害保険取扱
- (8) 許認可：観光庁長官登録旅行業第545号

詳細は別紙の通りです。

※資料配布先

国土交通記者会、福岡経済記者クラブ、旅行業界各紙

※この資料によるお問い合わせ

西日本新聞社 広報部	吉野・姫野	TEL：092-711-5650
日本旅行 秘書広報部	桑名・宇野・立石	TEL：03-6895-7860

西日本新聞社グループと日本旅行グループの包括的事業連携について

1. 概要

西日本新聞社グループは、「わたしたちの九州 西日本新聞社は地域づくりの先頭に立ちます」という経営理念のもと、地域から信頼され、地域に貢献するメディアを目指し、新聞発行を核に多様な企業活動に取り組んでいます。

日本旅行グループは、中期経営計画「VALUE UP 2020」で「地域の魅力を磨き上げ、幅広く発信していく」ことを目指す姿「4つのValue」の一つとして掲げており、インバウンドを含めた地域創生事業（地域活性化、地域誘客等）を推し進めております。

2019年6月6日付の包括的業務提携契約の締結等を契機に、両社グループの包括的事業連携を推進し、九州エリアの活性化とともに西日本エリアをはじめとする広域の交流人口増と発展に努め、西日本新聞社グループおよび日本旅行グループの価値向上(Win&Win)を目指してまいります。

2. 具体的な取り組み

(1) 西日本新聞社グループが運営、企画する文化事業やスポーツ事業に対するサービスの向上および国内旅行者や訪日外国人の誘客拡大に関する事項

- 西日本新聞社およびグループ各社の主催する展覧会、公演などの文化的イベントや地域づくりセミナー、観光シンポジウム、国際的なスポーツイベントなどを日本旅行のネットワークを活かし、九州域内のみならず、全国、海外から来訪者の流入を促す交流を実現していきます。



(スポーツイベントイメージ)



(展覧会イメージ)

- 九州新幹線と山陽新幹線を活用した「文化」の交流に取り組めます。JR西日本グループの日本旅行のおとなび・ジパング商品部との連携を強みに、歴史や文化を体感できる京阪神エリアの特別かつトレンドに即した高品質な商品を開発します。西日本新聞購読者の要望に応じたサービスの提供も実現し、西日本新聞旅行がお客様にお届けします。



(山陽新幹線)

例えば、九州エリア発の特別企画では世界三大墳墓の一つ「仁徳天皇陵古墳」(世界遺産登録勧告)の全景をヘリコプターで遊覧いただき、京都の世界遺産の寺社特別拝観などをお楽しみいただくといった、ぜいたくで格別なツアーを検討しています。他にも、奈良の文化を体感するツアーでは、皇室ゆかりの文化を体感するツアーを企画していきます。

一方、全国や海外からのお客様には九州域内の魅力ある観光素材、テーマを組み合わせ、西日本新聞旅行の実績のあるバスツアーのコンテンツも活用しながら、新しいおもてなしの商品を開発していきます。



(仁徳天皇陵古墳イメージ)

(2) 九州エリアに係わる地方創生事業や地域振興に関する事項

地方創生の分野では、これまで両社が個別に取り組んできた事例や知見の共有によるノウハウの向上、企画内容のレベルアップを図ります。西日本新聞社の情報網や人脈に連動したモニターツアーなどを設定し、日本旅行の全国ネットワークを活用した「人の交流」を提案するなど、西日本新聞社と日本旅行の営業部門との連携による集客力の強化を図ります。海外からの誘客については日本旅行の海外ネットワークを活用し、特に欧米豪をターゲットとし九州の魅力を全世界に拡散していきます。従来のFAM（現地視察）ツアーの実施のみならず、新聞社の記事や動画といったコンテンツを活用したプロモーションに取り組んでいきます。



(九州観光イメージ)



(イベントイメージ)

さらには海外へのアウトバウンドとして経済、文化などの視察ツアーの実施を通じて、自治体や民間企業の海外交流をサポートしてまいります。

(3) 西日本新聞社グループの「働き方改革」を支援する福利厚生・出張手配サービスの向上

日本旅行が契約する全国の宿泊施設を、契約保養所として安価にご提供することが可能となります。これまでの施設に加え、大幅なラインナップの充実を図っていきます。また出張に際し、大学や企業でご好評をいただいている日本旅行が提供する出張手配・管理に特化した法人向けのクラウドサービス「出張なび」などの利用ができ、西日本新聞社グループにおける出張事務の簡略化、効率化、コスト削減を図ります。



(契約宿泊施設イメージ)



(出張イメージ)

(4) 西日本新聞購読者への旅行等を通じたサービスの向上

西日本新聞社及びグループ会社が発行する各媒体の読者の興味や関心をくみとり、年齢層や趣味嗜好に応じた旅行商品の開発を西日本新聞旅行と日本旅行が共同で手掛けます。令和の時代を肌で感じるタイムリーな商品を企画し、顧客に一層の愛着を抱いていただくと共に、新たな読者・ファンの開拓を目指します。海外旅行においては、姉妹都市である福岡とボルドーにちなんだワインの銘醸地を訪ねるスペイン・フランスバスク地方とボルドーを巡るシャトーやホテル、レストランを厳選した商品など10コースを両社共催で実施していく予定です。



(ツアーイメージ)



(フランスイメージ)

以上